

行事報告

大阪男女協働推進連携会議における女子大学院生と企業等との交流会

梅田 純子

接合機構研究部門 複合化機構学分野 准教授

2019年11月13日（月）銀杏会館において、大阪男女協働推進連携会議における女子大学院生と企業等との交流会が開催されました。本学では平成28年度より女性研究者の育成及び研究力向上を図る「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）」事業に取り組んでおり、本事業の共同実施機関及び協力機関とともに、大阪男女協働推進連携会議を構成してクロス・アポイントメントや共同研究等などの産学官共創による女性研究者の育成を進めています。

将来、研究者を目指す女子大学院生が社会と研究のつながりを知り、自身の研究を深化させることやキャリア形成意識の向上を目的に、工学研究科・理学研究科・基礎工研究科・情報科学・薬学・生命機能研究科の研究科長推薦による女子大学院生103名と20機関が参加した交流会を開催しました。

交流会では、まず大阪大学 西尾章治郎総長からの挨拶があり、本学におけるダイバーシティ活動の取り組み紹介、女子大学院生への激励のメッセージと参加機関に感謝の気持ちを述べられました。続いて、各企業が1分間スピーチを行った後、理工系とライフ系に分かれて進行了しました。

まず、女子大学院生が1分間スピーチとして研究紹介や自己アピールを、それぞれが工夫を凝らして行いました。その後、ポスター発表の場に移り、企業等の方々が女子大学院生の研究発表に耳を傾け、活発な意見交換が行われました。また、女子大学院生同士でも研究について意見交換をしている場面も多くみられました。さらに、女子大学院生が興味をもった企業ブースを訪問し、詳細な事業説明を受け、大阪大学OG社員と活発な質疑応答を行うなど積極的な交流が行われました。

接合科学研究所からも1名の女子大学院生が発表を行うと共に、4名の学部生が運営スタッフとして参加し、先輩方の活動から大きな刺激を受けました。また接合科学研究所のOGが企業側で参加して、事業説明だけでなく多くの後輩を鼓舞してくれました。

交流会終了後は会場をミネルバに移して情報交換会を開催し、企業と女子院生の交流のみならず、異なる専攻の女子院生でも交流が図られ、笑顔はじける活発な雰囲気の中、終えることができました。

本交流会を通じて、女子院生は研究発表だけでなく将来を見据えた意見交換を行うことができました。特に、異分野の業種を知る機会が得られたことで、実社会との繋がりを強めながら今後の研究活動だけでなく卒業後の進路を広い視野で考えるきっかけとなりました。また、異分野の学生間交流もできたことで、お互いを高めあう関係の構築が期待されます。

